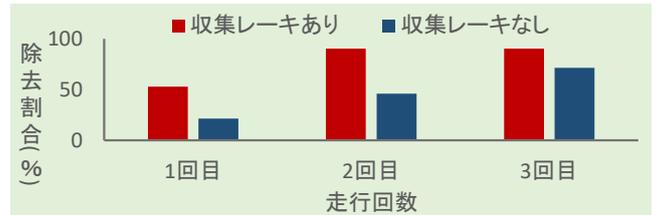
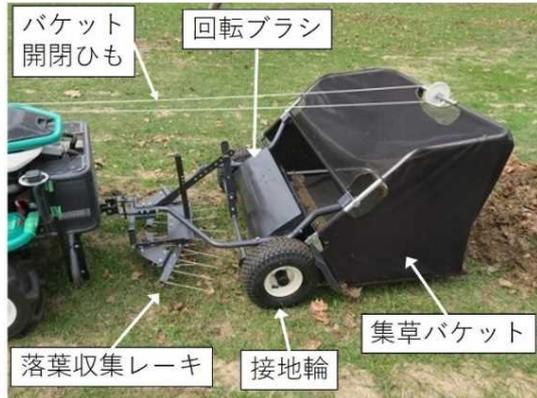


リンゴ黒星病の発生は伝染源として重要な落葉を園地内から除去するか、土に鋤き込むことで低減できます。しかし、積雪地においては雪解け後の春に地面に張り付いた落葉を収集する必要があり、労力がかかるため、鋤き込みも含めて実施されていないのが現状です。そこで、当研究所は農研機構と(株)オーレックと共同で、省力的に被害落葉を収集できる落葉収集機を開発したので、その概要や作業能率など効果について紹介します。



開発した落葉収集機（オーレック社製）

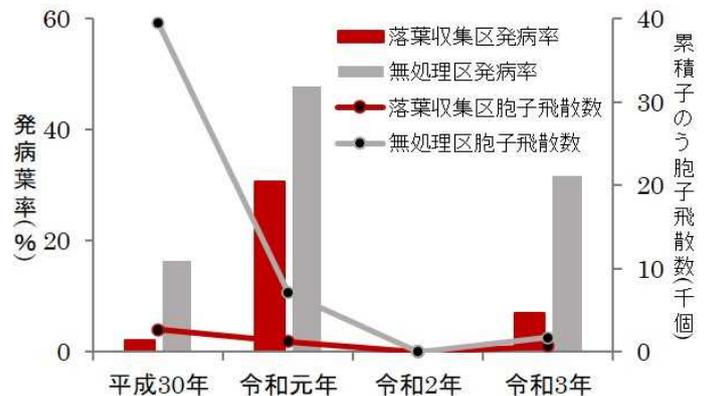


- ◆ 刈り刃を上げた状態の乗用草刈機で牽引し、地面に張り付いた落葉を収集レーキが掻き起こします。
- ◆ 接地輪の動力でブラシが回転し、落葉をバケットに回収します。
- ◆ バケットに溜まった落葉は運転席に座ったまま排出できます。

落葉収集機を利用する際

- ① 走行速度は5~10km/h
- ② 積雪地では収集レーキを装着
- ③ 同一か所の走行回数は2回

落葉収集機を利用した場合の作業能率と落葉収集の効果



- ◆ 作業能率は15~30a/hで、手持ちレーキによる作業 (0.9a/h) の16~34倍！省力的で効率的！
- ◆ 落葉収集機の利用で黒星病の子のう胞子飛散を抑制し、初期発生も低減できます！

利用上の注意点

- 積雪地では収集レーキが必要です。
- 収集作業は消雪後～展葉1週間後頃までに実施します。
- 樹冠下の落葉は事前に手持ちレーキで掻き出します。
- 収集した落葉は、園地外へ搬出する、穴を掘って埋める、土に鋤き込むなどして、適切に処分します。

詳細は令和4年度指導参考資料
 「落葉収集機を利用した省力的な落葉除去とリンゴ黒星病に対する発生低減効果」
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/files/R4gattai.pdf>
 をご参照ください。